

こうしゅう 市議会広報

34号

2014.4.28 発行
山梨県甲州市議会

- 特集① 座談会・新議長と語る P 2 ~
テーマ「安心して子育てできる環境づくり」
- 特集② 平成26年度予算の審議 P 6 ~
- 市民フォーラム「大雪について」 P 11
- 3月定例会レポート 議案の審議 P 12 ~
- 一般質問 5人の議員が市政を問う！ P 16 ~
- 委員会レポート P 22 ~

色鮮やかに咲き誇る慈雲寺のイトザクラ

テーマ・・・安心して子育てのできる環境づくり

健やかな成長を 支えるまちづくり

今回の座談会では、昨年11月に就任した中村勝彦議長が「安心して子育てのできる環境づくり」をテーマに3人の皆さんと意見を交わしました。

本市では、安心して子どもが産め、健やかに育成される地域社会の形成に向け、相談、教育、情報提供体制の充実など、多様な子育て支援に取り組んでいます。

しかし、わが国では急速に少子高齢化が進行しており、労働力人口の減少をはじめ、社会保障への影響や、家庭、地域における子どもの育成環境の変化など、社会全体に深刻な影響を与えることが懸念されています。そのため医療、保健、教育、福祉など、さまざまな分野での連携と、関連機関が一体となった子育て支援策をさらに推進していく必要があります。



あったらいいなの甲斐 会長

岩瀬輝彦さん
(塩山上於曾)



岩崎保育園主任保育士

宗岡真由美さん
(塩山上於曾)

議長 今回の座談会は、「安心して子育てのできる環境づくり」をテーマに、それぞれのお立場から率直なご意見やご提言を伺いたいと思います。

本市は第一次総合計画の基本目標のひとつに「健やかに心ふれあう健康・福祉のまちづくり」を掲げ、総合的な子育て支援を推進していますが、まず初めに、皆さんが日頃の子育てで感じていることや、取り組まれていることをお聞かせください。

宗岡 私は勝沼町の岩崎保育園に勤務しています。主に未満児保育や子育て支援活動に携わっていましたが、2月からは主任保育士となりました。現在は仕事や家庭のことで自分の時間をあまり持てませんが、小学生の息子が少年野球を始めましたので、一生懸命応援したり、親同士の交流を



千野保育園 保護者

加藤美樹さん
(塩山下於曾)

図ることがとても楽しみです。

加藤 今日は塩山千野保育園の保護者として参加させていただきました。日頃、子どもたちが保育園や学校の生活の中で、楽しかったこと、嬉しかった出来事を笑顔で報告してくれそうですので、一緒に喜びを分かち合えることに幸せを感じています。

岩瀬 私は塩山上於曾で内科クリニックを経営しています。また、3年前程に「あったらいいなの甲斐」という会を立ち上げました。子育てや医療、介護などを中心に、「こんな場所やサービスがあったらいいな」と感じることを実現しようとして活動しています。多業種の方々と情報を共有し、必要な情報を地域に発信することが、抱えた悩みや問題の解決につながると考えています。



甲州市議会

中村勝彦 議長

子どもたちの 地域全体で

子育て支援サービスで 親子の健康づくりを

議長 本市では、安全で快適な妊娠、出産、子育ての支援や、育児不安の減少に向けた養育相談を強化するとともに、助産師や保健師の派遣等による支援、育児教室の開催などに努めています。が、「親子の健康づくり」について、ご意見を聞かせください。

加藤 各種健診や教室にはほとんど参加させていただけました。一番印象に残っていることは、産後に保健師さんが家庭に訪問してくださったことです。第1子を出産した直後で、不安やいろいろな気持ちを受け止めていただきました。私にとって忘れられない経験となりました。

宗岡 同感です。私も褒められたことがとても嬉しくて、これから子育てをしていく上で自信にもなりました。やはり専門知識を持っている方の何気ない一言に救われているお母さんはとても多いのではないのでしょうか。

議長 本市は比較的手厚く、また、独自に取り組んでいる子育て支援策もあります。岩

瀬先生は医師という立場で子育ての相談に応じる機会は多いですか。

岩瀬 核家族化などで、育児の孤立化による育児不安のストレスを抱えてしまう方もいます。実際には多様な子育て支援サービスがあるので利用していい。そういったサービスを利用して、親子の交流を持ち、気分転換しながら子育てした方がいいよと、診療とは離れて進言することがあります。

議長 子どもの健康ばかりに集中しますと、意外と自分のことを後回しにする方も多いのかなと思います。ぜひ多様なサービスを利用しながら健康管理には十分配慮していただきたいと思っています。

日頃の声かけやふれあいが 地域の安心・安全につながる

議長 市民、関係機関等が一体となり、子どもを事故や犯罪等の被害から守るために、ご意見やご要望があればお聞かせください。

加藤 最近幅広い道路が整備され、車利用者の利便性は向上していますが、そこにつながる幹線道路の交通量も朝夕ともに増加しています。通学路にしても、今まで普通に利用していた道路や横断歩道も心配な箇所がありますので点検や整備をお願いします。

宗岡 地域の目があるということは犯罪の抑制や、万が一の時に非常に力になっていただけるので、地域の方とのつながりが大切だと思います。子どもの登下校の時間帯に合わせて外に出て、少し気にかけていただくと自然と交流もできます。日頃からの声かけやふれあいが地域の安心・安全につながるのではないのでしょうか。また、いざという時はすぐに行動できるように、子ども110番の家を確認しておくことも重要です。

議長 大人も通学路を歩く必要がありますね。地区によっては、PTAや自治会の役員が実際に通学路を歩き、危険箇所や白線が消えている箇所を調べています。親以外の周りの大人が知っておくことも大切です。子どもたちが安心して歩き回れるまちづくりを推進していきたいと考えています。

多様なニーズに対応できる 柔軟な保育体制の確立を

議長 本市では、多様なニーズに応じた保育サービスの提供に努めるとともに、保育所の充実や保育施設の整備を図っていますが、皆さんが必要と考える保育サービスがあればお聞かせください。

宗岡 延長保育に関しては、保護者の方は安心してお子さんを預けていただいていると思いますが、子どもは早く迎えに来ないかなど、不安を感じる時間帯でもありますので、保育士の人数を普段の定数よりも増員し、ゆったりとスキンシップが図れるような環境づくりが望まれます。また、各保育園・保育所に看護師を配置してほしいと思います。保護者のニーズと併せて、子どもたちも満足できるように保育支援の推進をお願いします。

加藤 現代社会は労働条件の多様化により、子どもを夜間まで預けなければならぬ状況も生まれています。また、保護者の勤務形態も多様化しており、休日保育の実施も欠かせません。

宗岡 岩崎保育園においても観光農園を経営されている保護者が多いので、休日保育の実施を望む声が寄せられています。

岩瀬 地域の実情やニーズを勘案し、例えば、観光シーズンの繁忙期など、必要な期間は実施できるような柔軟な対応がとれる保育体制の確立が望ましいのではないのでしょうか。

連携・協働活動で 要望に応じた運営を

議長 千野保育園では病後児保育を運営されていますが、利用されたことはありますか。

加藤 最近は登録だけで終わることも多いのですが、良く利用させていただきました。他所の保育園に通園されているお子さんが千野保育園の病後児保育を利用するケースもありますので、必要なサービスだと思えます。

宗岡 岩崎保育園の病後児保育は、現在は休室中ですが、



多様な保育ニーズに対応し、安全で安心な保育環境のさらなる充実が望まれる

保護者からの再開してほしいとの声は根強いです。

岩瀬 甲府ではいくつかの保育園や幼稚園が連携、協働しながら病児保育や病後児保育サービスを運営している事例もあります。サポートの中心にはクリニックもあります。立地条件が良いということもありますが、近隣自治体からの利用者を含め、年間約2000人が利用しているようです。

す。本市でもそういったネットワークを構築し、サービスを展開できるように体制を整備しておくことも必要だと考えます。

議長 受けられるサービスがそこにあるということが大事だと思えます。子どもや保護者の多様なニーズに応じた保育運営を維持していくための体制づくりの必要性を改めて感じます。

ふれあい体験を通して 子育ての喜びを学ぶ

議長 本市ではこれまで少子化対策として、さまざまな施策に取り組んできましたが、依然として出生率は低下傾向にあります。少子化に歯



子どもたちの健やかな成長と良好な子育て環境の整備はだれもの願い（地域でサポートする子育てサロンの様子）

止めをかけるために、ご意見や新たなご提言があればお聞かせください。

宗岡 少子化の原因と思われる解決すべき課題は数多くあると思いますが、やはり、結婚・出産意欲の向上が少子化の抑制につながるのではないのでしょうか。岩崎保育園では子育て支援の一つとして、小学生から大学生を対象に保育体験を実施しています。幼児とふれあい、命の大切さやかわいらしさ、子育ての意義を学んでもらうことで、将来、子どもを産みたいという気持ちの基礎となる要素が育っていったらいいと、積極的に取り組んでいます。

加藤 経済的負担や雇用の不安定化などで、若い世代の方がゆとりを持って育児ができる環境が社会全体で低下しているような話を聞いたりします。大きなテーマになってしましますが、子どもたちが明るい未来を築けるような環境や意識を整えてあげたいと感じています。

岩瀬 少子化対策は社会全

体で取り組むべき課題であると認識しています。地域や職場、行政が一体となり、「安心して子どもを生み育てることができるまちづくり」を推進してほしいと思います。

地域全体で 子育て支援を

議長 これまで子育て支援についてさまざまなご意見を伺ってきました。最後になりますが、各自に求められる役割や目標など、それぞれのお考えをお聞かせください。

加藤 地域には子どもたちが中心となる伝統行事がたくさんあります。いざ自分の子どもが関わるようになり、大変さと大切さを痛感しています。子どもには地域の一員であることを自覚してもらい、地域を支える存在になってほしいと願っています。また、私も子どもに対して過保護の程度が強すぎたことを反省しながら、学校や保育園では体験できないような、学べる機会をたくさん増やしてあげることが親の務めなのかなと、最近感じています。

岩瀬 地域のつながりが一番大切だと感じています。地域にいる子どもたちは宝物で

すから、地域という大きな家族の中で支えあい、皆で教育できるようになっていくことが理想だと思います。昔はそうでした。地域に密接に関わるためにはさまざまな行事にできるだけ参加してほしいと思います。つながりを作っていくことによって、今回のような大雪災害に対しても地域で助け合い、突破していけるのではないのでしょうか。

宗岡 岩崎保育園には「共育」という保育理念があります。子育てを通して、親が親として育っていく。保育士は保育の専門職として成長していく。子どもの周りに親や保育者がいて、皆で育っていく。そして、地域の方がいて、サポートし合いながら「共に育つための子育て支援」に今後もしっかり取り組んでいきたいと思っています。

議長 本日は実りある座談会を開催することができました。甲州市の将来を担う子どもたちが健やかに生まれ、心豊かに成長できるよう、皆さんからいただいた貴重なご意見を持ち帰り、これからの議会活動や、さらなる子育て支援の充実に取り組んでいきたいと考えています。本日はありがとうございました。

173億3800万円の予算

まちづくりへの予算編成を問う

平成26年度の予算案は、各常任委員会へ所管事項ごとに付託され、3月6日から11日にかけて審議を行い、原案のとおり可決すべきものと決しました。「全庁一丸となって経費の削減に取り組む中で、優先度、緊急度を十分に吟味した上で、第一次甲州市総合計画に基づく施策の着実な推進を図り、人口対策、地域資源を活用した観光・農業の振興、子育て支援と学校教育の充実、生活関連社会資本の整備などの重要な政策課題に取り組むための予算」(施政方針の抜粋)となりました。主な質疑を要約してお伝えします。

歳入

■市税

問 入湯税の予算額が前年度対比で減額となった要因は何か。

答 税務課長 観光客が富士山へ大勢行く分、本市の入込客数が多少減った状況が見受けられるからである。

■使用料及び手数料

問 住宅使用料の予算額が減額となったが、現在の入居率を問う。

答 建設課長 市営住宅については、95%以上の入居率であるが、定住促進住宅については、入居率が減少しており、赤尾住宅が約

60%、松里住宅は50%を下回る状況である。

■国庫支出金

問 民生費国庫補助金1億465万円が計上されているが、内容を問う。

答 福祉課長 4月1日からの消費税増税に伴い、低所得者の方へ与える負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、子育て世帯臨時特例給付金と同様に、臨時福祉給付金を支給する。また、それに係る事務費やシステム開発委託料等も併せて計上した。

問 教育費国庫補助金について、これまでも各学校の耐震化工事や市学校給食

センター建設事業等の実施で、多額の投資を行っているが、少子化が進行している中で、どのようなスタンスなのか。

答 教育総務課長 以前から要望のあった、大藤小学校、玉宮小学校の大規模改造事業を実施する。現状の中で、安心・安全な教育環境の整備、充実が大切であると考えている。

■県支出金

問 労働費県補助金に計上されている、起業支援型地域雇用創出事業補助金について、内容を問う。

答 産業振興課長 地域の産業・雇用振興策に沿って、起業後10年以内の企業等に委託し、地域に根ざした安定的な雇用創出に資する事業を展開していく。平成26年度は、ワイナリーなど、3企業が実施する事業に補助金を交付する。

平成26年度

予

算

審議

臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付事業に

1億4100万円余を計上

歳出

■総務費

問 職員研修事業費297万3000円が計上されているが、内容を問う。

答 総務課長 内部研修や出張研修等を実施し、市民サービスの向上を図っている。予算の大部分は、市町村自治センター等への負担金である。

問 人口対策緊急プロジェクト事業について、情報誌を発行し、市政情報を

発信していくとのことだが、インターネット等は活用しないのか。

答 政策秘書課長 インターネット等も活用しているが、ネット環境を持たない方もおり、生活情報や定住移住情報等を集約した情報誌を発行したい。また、首都圏において、本市にゆかりのある方が経営している店舗等に置いていただき、本市の魅力を発信していきたい。

問 本庁舎に防犯カメラを増設することだが、内容を問う。

答 管財課長 現在、東側駐車場を監視できる防犯カメラがない。今後、電気自動車の急速充電器を設置していく中で、安心・安全のため、駐車場を一望できるように設置したい。

■民生費

問 臨時福祉給付金給付事業及び子育て世帯臨時特例給付金給付事業について、対象者数の見込みを問う。

答 福祉課長 臨時福祉給付金は約7500人が対象となり、そのうち、老齢基礎年金受給者や障がい基礎年金受給者等、おおむね4000人に5000円の加算措置を行う。

答 子育て支援課長 子育て世帯臨時特例給付金は約3300人が対象となる。

問 社会福祉協議会補助事業費3873万円が計上されているが、内容を問う。

答 福祉課長 社協12支部への活動費補助と職員10人分の人件費である。

■衛生費

問 太陽光発電システム設置費補助金1000万円が計上されているが、何件の申請を見込んでいるのか。

答 環境政策課長 上限度10万円で、100件分を計上した。実施延長については、平成26年度の実施状況は、平成26年度の予定となっているが、実施延長の考えはあるのか。

答 環境政策課長 勝沼地域に重点的に設置していきたいと考えている。平成25年度は小佐手地区に1カ所設置されたが、さらに普及を進めるため、26年度は4カ所分を計上した。

大菩薩の湯・やまと天目山温泉で

リニューアル工事を実施

■商工費

問 温泉施設リニューアル事業費3525万9000円が計上されているが、内容を問う。

答 観光交流課長 主な内容として、大菩薩の湯リニューアル工事を実施し、ポイラー、ポンプの更新工事を行う。また、やまと天目山温泉でもリニューアル工事を実施し、更衣室のエアコン取り換え工事、浴場の照明設備改修工事を行う。

問 レンタサイクル事業について、新たに勝沼地域へ導入していくとのことだが、内容を問う。

答 観光交流課長 平成26年度末に電動アシスト付自転車50台を購入し、勝沼支所、JR勝沼ぶどう郷駅に保管、設置する予定である。27年度からの運用を目指し、事業を進めていきたい。

問 リサイクルステーションの設置についてはどのように推進を図っていくのか。

答 環境政策課長 勝沼地域に重点的に設置していきたいと考えている。平成25年度は小佐手地区に1カ所設置されたが、さらに普及を進めるため、26年度は4カ所分を計上した。

問 商店街の空き店舗の有効活用について、具体策はあるのか。

答 産業振興課長 平成26年度から市民課内に設置される人口対策室と連携を図る中で、空き家対策と同様に、検討を重ねていきたい。

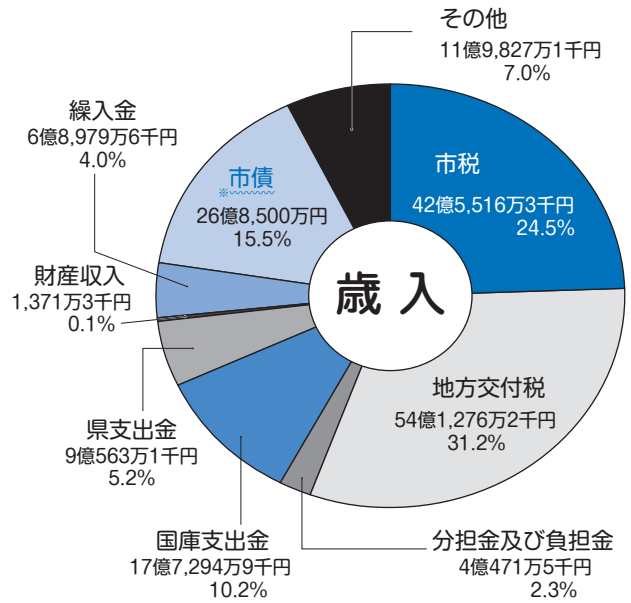
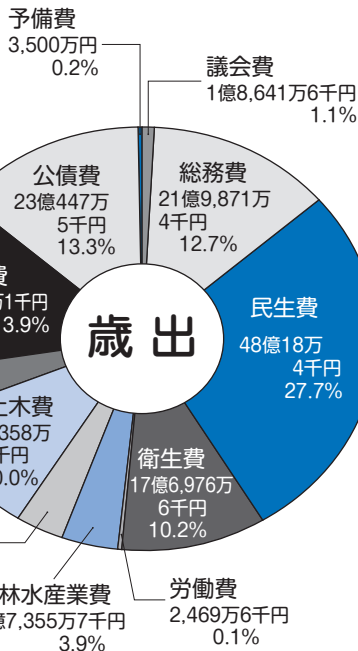


「個性と魅力に溢れたまちづくり」のさらなる推進のため、一般会計当初予算は173億円余が計上された

平成26年度

一般会計の予算額

173億3,800万円



■教育費
問 中学校普通教室へのエアコン設置事業について、いつから使用できるのか。
答 教育総務課長 授業に支障をきたさないよう、夏休み期間中に設置工事を行い、2学期から使用できるように準備を進めている。

■教育費
問 学校支援地域ポランティア事業について、内容を問う。
答 教育総務課長 学校と地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制の構築を目的としている。地域コーディネーターを置き、地域住民等のポランティアの学習支援や部活動支援などの活動を通して、学校教育支援や地域の教育力の向上を図っている。

■消防費
問 消防団員の現在の報酬について、どのような見解か。
答 総務課長 全国的に見ても、消防団員に対する手当が十分でない傾向にある。出勤手当については、回数に関係なく、年間1800円程度である。今回の大雪災害の際に、随所で地域を援助していただいたことを鑑みても、見直していくべきだと思っている。

2学期から使用開始予定

中学校エアコン設置事業

■農林水産業費
問 新規事業として、就農定着支援制度推進事業費が計上されているが、内容を問う。
答 産業振興課長 主な内容として、就農希望者への農業技術の習得等を支援するため、優れた技術を持つ農業者（アグリマスター）、研修生、それぞれに1カ月あたり5万円を支給する。

■土木費
問 新規事業となる住宅リフォーム補助事業について、何件の申請を見込んでいるのか。
答 建設課長 工事が100万円以上の場合10万円を、100万円以下の場合1割を補助する内容であり、20件分を計上した。

■都市整備課長 用地買収に合意をいただいた店舗等について、公有財産購入費と補償費を計上した。

問 塩山ふれあいの森総合公園管理費について、他

問 公園施設と比較し、多額の予算が計上されている理由は何か。
答 都市整備課長 自然な地形を利用した広大な敷地であり、維持管理に約1500万円を要している。

問 市役所旧庁舎跡地に建設中の多目的ポケットパークについて、隣接する建物等への補償はどうなっているのか。
答 都市整備課長 用地買収に合意をいただいた店舗等について、公有財産購入費と補償費を計上した。

※公共施設を整備する際の金融機関等からの長期借入金

特別会計・企業会計

国民健康保険事業

人間ドック検診費に1100人分を計上

■国民健康保険事業

問 人間ドック検診費2203万6000円が計上されているが、何人の受診を見込んでいるのか。

答 国保年金課長 1100人の受診を見込んで計上した。

問 葬祭費給付経費について、東山聖苑火葬場の使用料が9月から改正されるが、どのように対応しているのか。

答 国保年金課長 補正予算等を含め、今後検討していきたい。

■診療所事業

問 平成26年度予算は25年度当初予算に110万円のみの上乗せである。25年度は312万6000円の補正を行った経過があるが、問題はないか。

答 国保年金課長 平成

25年度の実績を基に、健全な予算計上をしており、問題は無い。

問 医療用消耗器材費及びその他の医療品衛生材料費は前年度対比で増額計上されているのに対し、医薬品衛生材料費は同額計上であるが、問題はないか。

答 国保年金課長 医薬品は在庫を残さないよう、小分け購入し、管理をして

いく。また、ジェネリック医薬品の導入も行っており、さらなる経費の削減に努めていきたい。

■後期高齢者医療

問 後期高齢者医療保険料が前年度対比で増額計上されている要因は、被保険者数の増加を見込んでのことだと思ふ。滞納者にはどのような対応を行っているのか。

答 国保年金課長 過年度の滞納者全員に納税相談を行い、分納等を働きかけている。歳入の確実な確保のため、収入未済額の縮減に努めていきたい。

問 後期高齢者医療広域連合納付金が前年度対比で増額計上されているが、被保険者数の増加が要因なのか。

答 国保年金課長 被保険者数の増加と同時に、保険料の均等割部分が引き上げとなり、納付金も連動して増額となった。

■介護保険事業

問 新たな社会福祉法人

が介護施設を開設予定とのことだが、内容を問う。

答 介護支援課長 勝沼町休息地区に定員29人の地域密着型施設を建設する予定である。

問 居宅介護サービス、地域密着型介護サービス、施設介護サービスの利用者数を問う。

答 介護支援課長 平成26年1月分の実数で、居宅介護サービス利用者887人、地域密着型介護サービス利用者137人、施設介護サービス利用者315人である。

■訪問看護事業

問 訪問看護事業の今後の動向を問う。

答 介護支援課長 全国的に見ても、施設療養型から在宅療養型に移行している。また、団塊の世代が75歳以上になる2025年問題が想定される中で、今後は、訪問看護事業と居宅介護支援事業を組み合わせた事業の充実が必要になると考えている。



地域医療に不可欠である大藤診療所。地域からも大きな期待が寄せられている

国民健康保険事業特別会計	
歳入歳出	44億2,578万5千円
診療所事業特別会計	
歳入歳出	6,734万8千円
後期高齢者医療特別会計	
歳入歳出	3億7,268万4千円
介護保険事業特別会計	
歳入歳出	32億6,629万9千円
居宅介護予防支援事業特別会計	
歳入歳出	1,153万1千円
訪問看護事業特別会計	
歳入歳出	6,001万2千円
下水道事業特別会計	
歳入歳出	13億2,463万9千円
簡易水道事業特別会計	
歳入歳出	8億1,336万4千円
大藤財産区特別会計	
歳入歳出	447万5千円
神金財産区特別会計	
歳入歳出	575万3千円
萩原山財産区特別会計	
歳入歳出	1,770万円
竹森入財産区特別会計	
歳入歳出	93万7千円
岩崎山保護財産区管理会特別会計	
歳入歳出	60万円
水道事業会計	
事業収益	5億1,045万3千円
事業費用	4億5,598万3千円
勝沼ぶどうの丘事業会計	
事業収益	9億9,886万円
事業費用	9億9,383万円
勝沼病院事業会計	
事業収益	2,278万9千円
事業費用	2,278万9千円

勝沼ぶどうの丘事業

PFI導入に向け2000万円を繰り出し

■下水道事業

問 下水道事業費が前年度対比で約6000万円の減額計上であるが、要因は何か。

答 都市整備課長 予算編成時に国からの交付金が抑制され、工事業費が大幅に減額となった。

■簡易水道事業

問 浄水場施設の今後の整備計画を問う。

答 水道課長 塩山上小

田原地区の水道未給水区域の解消を図るため上萩原地区大久保平に、また、勝沼浄水場の負担軽減のため菱山地区に、浄水場を建設する計画であり、平成26年度に設計業務委託を実施する。

■勝沼ぶどうの丘事業

問 一般会計への繰出金2000万円について、内容を問う。

答 ぶどうの丘事務局長 オープンから38年が経過

し、施設の老朽化が進む中で、PFIによるコンセツション方式の導入に向け、アドバイザー支援業務委託費を本事業会計から繰り出すこととした。

水道料金 見直しの考えは

■水道事業

問 水道料金の見直しについて、考えを問う。

答 水道課長 浄水場建設に係る事業設計をある程度固め、平成26年度からの地方公営企業会計制度の改正も踏まえた中で、方向性を探っていきたいと考えている。

■勝沼病院事業

問 一般会計からの繰入金について、今後の推移を問う。

答 国保年金課長 繰入金の対象は、企業債の償還、元金利息、減価償却費、建設改良費等である。診療棟は昭和58年の建設で30年が経過するが、従来通り計画的な改修整備を実施する予

定であり、おおむね現状で推移していくものと想定している。

問 山梨厚生会との連携体制について、より良く構築されているのか。

答 健康増進課長 健康増進課及び介護支援課の職員が定期的に山梨厚生会と打ち合わせを行うなど、充実した連携体制を確保している。

■萩原山財産区

問 萩原山財産区管理会の組織体制を問う。

答 萩原山財産区事務長 管理委員3人と、運営委員18人で組織している。管理委員は毎月1回管理会を開催し、歳入歳出や事業等の状況について審議している。運営委員は定期的に見回りをを行い、防護柵の設置など、実際に恩賜林の管理を行っている。

問 恩賜林保護のため、間伐経費は予算計上されているのか。

答 萩原山財産区事務長 管理会では間伐を行っていないため、予算計上してはいない。恩賜林保護費の主な内容は、獣害防護柵の設置費やヤマモミジの献植費などである。

※1 民間の資金や経営能力等を活用し、公共施設等の設計、建設維持管理、運営を一体的に行なう手法
 ※2 施設の所有権を移転せず、民間事業者インフラの事業運営に関する権利を長期間にわたって付与する方式



集落の孤立脱出作戦

雨宮美江子さん (塩山竹森)

庭に、道路に、畑に、屋根に大量の雪が積もり、昨日までの見慣れた風景とは一変した様が窓越しに目に飛び込んできました。世界有数の豪雪国なので、こういうこともあると思いつつも、110^超の雪を見ながら除雪の大変さが思いやられました。盆地には今ままであまり大雪が降らなかつたので、豪雪地帯同様の除雪態勢が整っているはずもなく……。

ところが心配無用となりました。個人や会社の方々の重機、竹森団地や集落の都合のつく方々のスコップや軽トラックによる手際の良い除雪作業が始まったのです。汗を拭いながらの懸命の除雪で、集落の孤立脱出作戦は成功しました。温かい地域の絆がここにも生きていることに手を合わせる一日でした。



大雪に学ぶこと

萩原 繁さん (塩山上於曾)

3月の彼岸が過ぎた頃、やっと春の気配を感じております。

2月に降った大雪は観測史上最多を記録しましたので、誰もが驚いたことと思います。

山梨県では道路が各地で寸断され、JRも終日運休のニュースを耳にし、「陸の孤島」となりました。

不安が広がっていた時、発生から3年が経過した東日本大震災を思い出し、多くの尊い人命が失われたことを忘れず、日頃から防災意識を持ち、災害に備えておきたいと感じました。

地方自治体や県、国の「縦割り行政」を無くし、今回の経験を教訓に、今後スムーズな対応をしていただきたいと節に望みます。



自助・共助・公助で！

大村友子さん (勝沼町山)

朝、音が消えた一面の銀世界に誰しもあせんとしたでしょう。その大きな代償が農業施設倒壊でした。峡東地域だけでも9割近く全半壊し、同じ農家としても心穏やかではありません。たわなに実ったぶどうを足を踏ん張って支えた棚。青芽が吹き、「さあこれから」と躍動を始めた果樹の無残な光景を思うだけでも涙が流れます。山梨ブランド農産物を守るためにも、早い営農再開が必要です。

しかし、施設等への復旧助成は見えてきませんが、対応の遅さに不満の声もあり、収入を得るまでの生活への不安で、再建に二の足を踏む方々もいます。少しでも前を向ける対策を早急に立て、これまで培ってきた果樹王国を、行政、農協が一体となり守ってほしいです。



若者が教えてくれたもの

古屋恒作さん (勝沼町勝沼)

未曾有の大雪で、果樹ハウスの倒壊に遭遇された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

大雪の翌々日、轍の分だけ路面の見えるいた県道で見知らぬ車が立往生しました。車は車体の下の隙間全体に石のように固くなった雪を抱き込んでいました。乗員はなすすべもありません。その時、各自の家庭の雪かきをしていた若者たちが誰に言われるまでもなく駆けつけ、車の下に横になったり、車の前後から一斉にその堅雪を落とし始めました。30分程で堅雪をかき落とし、エンジン音と共に一気に車を元の轍に戻し、脱出させました。

その光景に老いた私は、今までにない昂揚感と熱いものを感じ、大雪のさまざまな後遺症もきっと克服できると信じました。

平成26年甲州市議会3月定例会は、2月20日から3月19日までの28日間の会期で開かれ、平成26年度各会計予算案、平成25年度一般会計補正予算案、条例案、人事案、請願、議員発議案など45件の事件について慎重な審議を行いました。主な議決内容を要約してお伝えします。

医療費窓口無料化を中学3年生まで拡充

子ども医療費助成金支給条例の改正案を可決

甲州市債権管理条例を可決

◆甲州市子ども医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定については、

子育て支援策として、子ども医療費助成金の支給を、現行、入院に限り対象としている中学生に關し、平成26年4月から通院も対象とすることに伴い、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市債権管理条例制定については、市歳入における未収金額が増加傾向にあることから、市債権の徴収等その適正な管理に必要な事項を定めることにより、市債権管理の適正化を図り、

公正かつ円滑な行財政運営に資するため制定するもので、可決しました。

◆甲州市伝統的建造物群保存地区保存条例制定については、文化財保護法の規定に基づき、都市計画に定める伝統的建造物群保存地区について、市教育委員会による保存計画の制定、現状変更の規制、審議会の設置等、その保存のため必要な事項を定めるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例制定については、平均寿命の延伸など高齢者を取り巻く

社会情勢や県内自治体における支給状況等に鑑み、平成26年度から満77歳の方に対する敬老祝金の支給を廃止すること等について所要の改正を行う必要があるため制定するものです。本会議では、「可決すべきもの」として教育民生常任委員会の委員長報告に異議が出され

ましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆甲州市重度心身障害者医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定については、平成26年11月から、重度心身障害者医療費助成制度における医療費の支給

方法が、現行の窓口無料方式から自動還付方式に移行することに伴い、所要の改正を行う必要があるため制定するものです。本会議では、「可決すべきもの」として教育民生常任委員会の委員長報告に異議が出され

ましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆平成25年度甲州市一般会計補正予算(第11号)は、2億544万3000円を減額し、歳入歳出をそれぞれ178億3039万3000円としました。主な歳出内容は、**総務費**として公共施設整備基金積立金等に1億6234万2000円を追加し、**民生費**は児童保護措置費等を4048万円、

衛生費は予防接種事業費等を5591万1000円、**農林水産業費**は県営担い手支援型畑地帯総合整備事業費等を4437万円、**商工費**は近代産業遺産整備事業費等を5772万9000円、**消防費**は防災行政無線施設整備事業費等を1億4833万円減額するものです。主な歳入内容は、**市税**

に1838万5000円、**繰入金**に2億9609万7000円を追加し、**分担金及び負担金**は4146万8000円、**国庫支出金**は4661万6000円、**繰入金**は1億9247万1000円、**市債**は2億1410万円減額するもので、可決しました。

◆本会議についての議決結果等は15頁を参照

平成26年度一般会計予算は

討論・採決により賛成多数で可決

◆平成26年度甲州市一般会計予算は、「可決すべきもの」として各常任委員会の委員長報告に異議が出され、賛成多数で可決し、歳入歳出それぞれ総額を173億3800万円としました。

(歳入歳出の詳細は8ページの円グラフを参照)

■委員長報告に反対討論

川口信子 商工分野では、活気ある商店街づくりを推進するための具体策が見当



各常任委員会を含め28日間の会期で開催された3月定例会

たらない。勝沼ぶどうの丘事業の管理運営に関しては、PFI方式導入推進を前提とした予算内容である。また、ぶどうの丘事業会計から一般会計に2000万円を繰り出しているが、2年前に監査委員から指摘された財務上の問題等、これまでの経緯を踏まえると認められない。中学3年生までの医療費窓口無料化の拡充や住宅リフォーム助成制度の創設など、各分野での積極面、前進面はあ

るものの、厳しさを増す市民生活に対応した予算とは言いがたい。よって、本予算案の可決に反対する。

◆平成26年度の各特別会計・企業会計予算(全16会計)は、それぞれを原案の通り可決しました。

(各会計の歳入歳出総額及び事業収益・費用は10ページの一覧表を参照)

なお、甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計については、「可決すべきもの」として建設経済常任委員会の委員長

報告に異議が出され、採決が行われました。

補正予算の専決処分を承認 除排雪対策事業費を計上

◆平成25年度甲州市一般会計補正予算(第9号)は、2月14日から15日にかけての記録的な大雪の除排雪対策事業費として、専決処分の承認を求めたもので、8560万円を追加し、歳入歳出をそれぞれ180億5300万6000円とした。歳出内容は、土木費として8560万円を追加し、歳入内容は、繰越金に同額を追加するもので、承認しました。

被災農業者等への支援で 緊急対策事業費等を追加

◆平成25年度甲州市一般会計補正予算(第13号)は、2億1203万9000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ181億5711万6000円としました。歳出内容は、衛生費として雪害廃棄物処理事業費に5096万7000円、農林水産業費として雪害緊急対策事業費に2億67万3000円を追加し、総務費は財政調整基金積立金を3960万1000円減額するものです。歳入内容は、地方交付税に5783万4000円、県支出金に1億5300万5000円、寄附金に120万円を追加するもので、可決しました。



記録的な大雪に伴う除排雪対策事業費として、補正予算の専決処分を承認した

◆平成26年度甲州市一般会計補正予算(第1号)は、1億1719万5000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ174億5519万5000円としました。歳出内容は、衛生費として雪害廃棄物処理事業費に1億1719万5000円を追加し、歳入内容は、国庫支出金に8408万円、繰越金に3311万5000円を追加するもので、可決しました。

国と県へ意見書を提出

大雪災害に対する支援を要請

◆平成26年2月の大雪災害に関する意見書の提出については、本会議第一日に全会一致で可決され、関係省庁及び山梨県に意見書を提出しました。

(意見書の全文は以下のとおり)

特定秘密保護法の撤廃を 求める請願2件は継続審査

◆3月定例会には、特定秘密保護法の撤廃を求める意見書の提出を求める請願が2件提出され、総務常任

委員会に付託して審査した結果、議会閉会中の継続審査となりました。

2件の人事案に同意

◆人権擁護委員に、三科典子氏(69・塩山西広門田)を推薦することに同意しました。

◆萩原山財産区管理委員に、田邊民男氏(75・塩山上萩原)、廣瀬宗勝氏(74・塩山上塩後)、岡武男氏(71・塩山中萩原)を選任することに同意しました。



平出副知事に意見書を提出する正副議長(2月21日)

平成26年2月の大雪災害に関する意見書

記

本年2月は、山梨県内において平年を超える降雪が続き、特に2月14日から翌日にかけては記録的な大雪となり、これまでの観測記録の2倍を超える観測史上最大積雪を記録しました。

この大雪により、甲州市内では、国道や県道をはじめとする道路の通行不能や鉄道の運転中止で交通機能が途絶し、各所で孤立世帯や車の立ち往生による孤立者が発生しました。

また、食料品や日用品、燃料などの不足や品切れが起こるとともに、建物の損壊、ぶどう棚の倒壊や果樹の枝折れ、ビニールハウスの倒壊等による農業被害など、市民生活や地域経済に甚大な影響が発生しました。

これらに対処するため市及び市議会では、大雪災害に関する対策本部等を設置したところでありますが、対策に多額の費用を要しております。

また、建物被害や農業被害等は融雪後に判明する事案も多く、基幹産業である果樹栽培への影響は数年間に及ぶと思われまます。

については、国及び県においては、こうした深刻な状況を認識し、下記の事項について特段の配慮をされるよう強く要望いたします。

1 安全な道路交通を確保するために、国道や県道の降雪対策を進めるとともに、降雪時には迅速な措置を講じること。

2 果樹など農業被害に係る復旧経費、苗の購入や農薬散布等の必要経費に対する支援を行うこと。

3 市道や農道の除雪経費、除雪用機材や融雪剤等の購入経費、高齢者世帯や孤立世帯等の除雪経費に対する財政措置を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年2月20日 議決
甲州市議会

提出先

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、
農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府
特命担当大臣(防災)、山梨県知事

平成26年3月定例会議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※中村勝彦議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	高	廣	黒	相	岡	日	佐	川	中	丸	矢	夏	古	古	平	野	岡	廣	結		
			畑	瀬	川	澤	部	向	藤	口	村	山	野	八	屋	屋	塚	尻	岡	瀬	果		
			一	明	武	俊	紀	正	大	信	勝	国	義	盛	久	匡	義	陽	武	宗			
承認案	承認第1号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
条 例 案	議案第1号	甲州市債権管理条例制定について																					
	議案第2号	甲州市伝統的建造物群保存地区保存条例制定について																					
	議案第3号	甲州市長等の給与及び旅費条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第4号	甲州市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第5号	甲州市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	甲州市重度心身障害者医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	甲州市B&G海洋センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	甲州市子ども医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
予 算 案	議案第9号	平成26年度甲州市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第10号	平成26年度甲州市国民健康保険事業特別会計予算																					
	議案第11号	平成26年度甲州市診療所事業特別会計予算																					
	議案第12号	平成26年度甲州市後期高齢者医療特別会計予算																					
	議案第13号	平成26年度甲州市介護保険事業特別会計予算																					
	議案第14号	平成26年度甲州市居宅介護予防支援事業特別会計予算																					
	議案第15号	平成26年度甲州市訪問看護事業特別会計予算																					
	議案第16号	平成26年度甲州市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第17号	平成26年度甲州市簡易水道事業特別会計予算																					
	議案第18号	平成26年度甲州市大藤財産区特別会計予算																					
	議案第19号	平成26年度甲州市神金財産区特別会計予算																					
	議案第20号	平成26年度甲州市萩原山財産区特別会計予算																					
	議案第21号	平成26年度甲州市竹森入財産区特別会計予算																					
	議案第22号	平成26年度甲州市岩崎山保護財産区管理会特別会計予算																					
議案第23号	平成26年度甲州市水道事業会計予算																						
議案第24号	平成26年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第25号	平成26年度甲州市勝沼病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
補 正 予 算 案	議案第26号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第10号)																					
	議案第27号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第11号)																					
	議案第28号	平成25年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)																					
	議案第29号	平成25年度甲州市診療所事業特別会計補正予算(第2号)																					
	議案第30号	平成25年度甲州市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																					
	議案第31号	平成25年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)																					
	議案第32号	平成25年度甲州市訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第33号	平成25年度甲州市下水道事業特別会計補正予算(第4号)																					
	議案第34号	平成25年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)																					
	議案第36号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第12号)																					
	議案第37号	平成25年度甲州市下水道事業特別会計補正予算(第5号)																					
議案第38号	平成25年度甲州市一般会計補正予算(第13号)																						
議案第39号	平成26年度甲州市一般会計補正予算(第1号)																						
その 他 の 案 件	議案第35号	甲州市過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
人 事 案	議案第40号	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	議案第41号	萩原山財産区管理委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
請 願	請願第1号	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書の提出を求める請願																				継続 審査	
	請願第2号	特定秘密保護法撤廃を求める意見書の提出を求める請願																					
議 員 発 議 案	発議案第1号	平成26年2月の大雪災害に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

5人の議員が市政を問う！



1	日向 正 議員	希望の風	17 ページ
2	古屋 久 議員	政和クラブ	18 ページ
3	矢野 義典 議員	公明党	19 ページ
4	川口 信子 議員	日本共産党	20 ページ
5	平塚 義 議員	甲輝会	21 ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。
いただくか、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。
掲載・発行はいずれも6月上旬の予定です。

一 般 質 問

3月定例会では、雪害への対応や産業・教育・福祉・防災・
基盤整備など市政全般にわたり、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。



日向 正議員

希望の風

Q 災害発生時に正確な情報共有を

A 情報共有のルールづくりに取り組む

問 今回の記録的大雪の際に、各区長と市当局の情報共有の必要性を痛感した。各区長にFAAXを貸与し、正確な情報を共有する仕組みがつかれないか。

答 総務課長 通信回線が寸断された場合、FAAXでの情報伝達には限界があるため、今後、区長会や自主防災リーダーと情報共有のルールづくりに取り組んでいきたい。

問 現行の税制は、空き家や廃屋を解体し、更地にする作業を遅らせている。廃屋等を長年放置することは火災発生時に被害を拡大させ、犯罪にもつながる恐れがあるが、対応策を問う。

答 税務課長 居住用建物を解体すると、土地に係る固定資産税の軽減措置が受けられなくなり、結果的に税負担は増加する。防災、防犯、景観等、総合的な観点から、共通課題として自

治体同士が連携し、国に税制改正の要望等を行っていくことが必要だと考えている。

問 景観条例について、大手チェーンの店舗などにはどのような指導が行われているのか。

答 都市整備課長 大規模店舗については、景観形成上への影響が大きくなるため、景観アドバイザーに助言をいただきながら指導を行ってきた。建物外壁の色彩については、周辺との調和に重点を置き、文字の大きさについては企業者と協議を行い、理解していただいた。今後は甲州市域の色彩調査を実施し、わかりやすい基準を設け、周知にも努めていきたい。

甘草を活用した商品化の現状は

問 甘草を活用したまちづくり推進のため、新日本

製薬グループ等と包括的提携協定を締結し、1年が経過する。甘草の栽培方法の確立及び商品化が重要と考えるが、現状を問う。

答 産業振興課長 現在、全国甘草栽培協議会において、飲料水や食品等の商品化を検討するとともに、入浴剤、化粧品等の研究を行っている。まずは、甘草屋敷で販売できる商品開発を進めながら、さらなる商品化に取り組んでいきたい。

問 商店街の活性化には多くの支援や情報共有が必要と考えるが、見解を問う。

答 産業振興課長 商店街関係者だけでなく、地域住民や生活情報の視点を持つ女性、新世代の視点を持つ若者や市外の方々を巻き

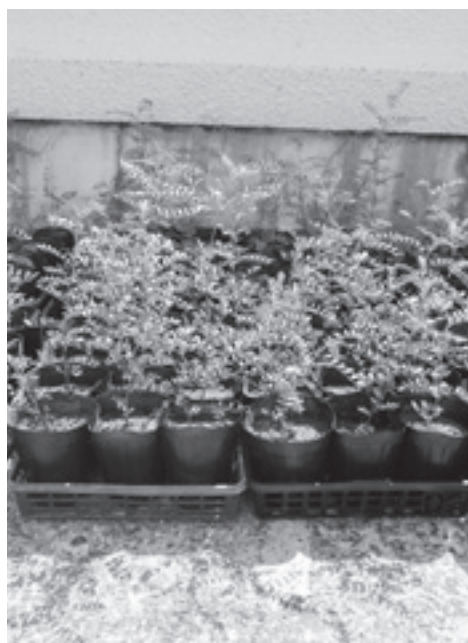
込んでいくことが重要だと考えている。

問 可燃ごみの減量化を図るため、ミックス紙の回収については、市の報奨金制度の対象品目とすること、また、ペットボトル回収については、区への還元金の支給対象とすることを要望するが、市の見解を問う。

答 環境政策課長 リサイクルを推進する観点から、今後、検討していきたい。

問 学校などの公共施設に太陽光発電パネルを設置し、電気料を削減していく考えはないか。

答 管財課長 費用対効果や建築物の構造的な課題等、将来を見通した上での研究、検討が必要と考えている。



順調に生育を続けている甘草。地域産業にとって大きな役割が期待される

古屋 久議員

政和クラブ



大雪により被害を受けたハウスの被害状況調査のため、現地視察を行う建設経済常任委員（3月7日）

Q 大雪災害の教訓

市地域防災計画に反映を

A 課題や反省点を見いだし生かしていきたい

問 記録的大雪災害について、市では市民生活機能回復に全力で対応しているが、最新の状況を問う。

答 総務課長 2月15日に市雪害対策本部を設置し、本部長である市長より、市民生活に影響を及ぼさないよう全力で対応するように

指示が出された。各地域における「自助・共助」の活動と共に、道路の除雪作業や帰宅困難者の一時避難所の開設等、全力で取り組んでいる。最大の被害を受けたハウスの被害調査と支援策については、県やJAと協議を重ねている。また、雪崩、落雪に対する注意の呼びかけや道路パトロールの実施など、市民生活の安全確保に重点を置いた取り組みを継続して行っている。

問 主要幹線等の交通まひにより、多くの帰宅困難者が発生したが、本市での状況と対応を問う。

答 福祉課長 JR塩山駅に停車中の電車内の乗客が帰宅困難となったため、市役所ロビーを開放し、約40人の方を受け入れた。保健師が健康チェックを行うとともに、職員が常駐し、必要な対応に努めた。

問 消防団の災害対応力強化今後の市の取り組みは

問 消防庁は26年ぶりに消防団装備の基準を一新することを決めた。消防団の災害対応力強化が期待されるが、今後、市はどのような

答 大和支所長 大和地域では約90人の帰宅困難者が発生し、大和公民館を開放した。また、笹子トンネル付近の観光バスツアー客の中には高齢者もいたため、近くの丸林区集落センターを一時避難所として開設していただいた。保健師を要請するなどして、安心・安全の確保に努めた。

域では約90人の帰宅困難者が発生し、大和公民館を開放した。また、笹子トンネル付近の観光バスツアー客の中には高齢者もいたため、近くの丸林区集落センターを一時避難所として開設していただいた。保健師を要請するなどして、安心・安全の確保に努めた。

問 今回の大雪災害の教訓を本市の地域防災計画に反映してほしいが、いかがか。

答 市長 対策本部としての課題や各課での取り組み、その対応の反省点や改善点を見いだし、市地域防災計画に生かしていきたい。

問 認知症支援事業について、本市における認知症の早期発見、治療につなげるための取り組みを問う。

答 介護支援課長 一昨年から事業所等を対象に、認知症サポーター養成講座を実施している。今後、民生委員と連携を持ちながら、広報活動を通じ、認知症の早期発見、早期対応を推進していきたい。

問 公共施設利用料や市への納入価格等、本市における消費税表示のルールはどのようなものか。

答 総務課長 消費税額を含む総額表示としている。

に取り組んでいくのか。

答 総務課長 自然災害への対応には消防団の組織力、機動力が不可欠であり、優先度、必要度に応じた年次配備計画を立て、災害対応力の強化に努めていく。

問 自主防災組織資器材整備事業について、平成27年度以降は補助率、限度額の見直しが予想される。特例期間の延長を切望するが、見解を問う。

答 総務課長 自主防災組織を未結成の行政区もあることなどを踏まえ、今後十分に検討していきたい。

問 認知症支援事業について、本市における認知症の早期発見、治療につなげるための取り組みを問う。

答 介護支援課長 一昨年から事業所等を対象に、認知症サポーター養成講座を実施している。今後、民生委員と連携を持ちながら、広報活動を通じ、認知症の早期発見、早期対応を推進していきたい。

問 公共施設利用料や市への納入価格等、本市における消費税表示のルールはどのようなものか。

答 総務課長 消費税額を含む総額表示としている。



矢野義典議員

公明党

Q 青少年のインターネット依存対策を

A 情報モラル教育が推進されるよう指導する

問 市民の読書意欲を高める取り組みとして「読書通帳」導入の検討、推進を提言するが、いかがか。

答 生涯学習課長 各種事業の検証を行い、成果と課題を精査する中で、先進地事例を研究していきたい。

問 インターネット依存傾向は青少年の健全な育成の妨げと考えられる。情報モラル教育の充実を提言するが、考えを問う。

答 教育総務課長 発信される情報の高度の流通性や発信の匿名性なども踏まえ、学校においても情報モラル教育が推進されるよう指導していきたい。

問 障がい者への理解つながりある地域づくりのために「ヘルプカード」の普及促進を提言するが、いかがか。

答 福祉課長 本市では「緊急時情報カプセル」を配布しているが、今後は、難

病患者を含めた障がい者支援の観点から、対象となり得る方々に広く配布できるよう努めていきたい。

問 代読・代筆支援を必要とする方のニーズについても対応できる仕組みづくりを提言するが、いかがか。

答 福祉課長 障がい者に対する代筆・代読支援は確立されているが、高齢者への読み書き支援については、対応を検討していきたい。

市消防団員の処遇改善の取り組みを

問 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の成立を受け、市消防団員の処遇改善の取り組みを提言するが、考えを問う。

答 総務課長 団員の年間報酬及び出勤手当については国からの通達もあり、一歩でも処遇改善ができる

よう努力していきたい。

問 国が策定した「ふるさとづくりガイドブック」を活用し、地域振興、地域活性化に資する取り組みを提言するが、考えを問う。

答 政策秘書課長 今後のまちづくり、ふるさとづくりの参考とすべく、積極的に活用していきたい。

問 住民向け行政サービスや観光誘致等に資するため、スマートフォンアプリやWEBアプリの開発、配信を提言するが、いかがか。

答 政策秘書課長 先進地事例を参考にしながら、関係各課と調整を図る中で検討していきたい。

問 行政機関が保有する地理空間情報、防災・減災情報、統計情報などの公共

データを、利用しやすい形で公開する「オープンデータ」の取り組みの推進を提言するが、いかがか。

答 総務課長 全国的な動向や課題も見極める中で、研究、検討していきたい。

問 防災・減災等に資する「国土強じん化基本法」の成立を受け、市では「国土強じん化地域計画」の策定にどのように取り組むのか。

答 総務課長 市町村が行うべき詳細な内容が示された後、検討していきたい。

問 各種事業の予算確保のため、「クラウドファンディング」の取り組みを提言するが、いかがか。

答 政策秘書課長 事業資金財源確保の一つとして検討していきたい。



地域防災力の中核を担う消防団

※1 障がいのある方などが災害時や緊急時に、周囲に自己の障がいへの理解や支援を求めするためのカード
 ※2 賛同するアイデアやプロジェクトに対して、インターネットを通じて寄附などを行うこと

川口信子議員

日本共産党



市のシンボルでもある勝沼ぶどうの丘。今後も観光拠点施設としての役割が期待される

Q ぶどうの丘
事業

PFI導入を最善と考える根拠は

A 将来にわたり維持・運営していくためである

問 今回の大雪による農作物、農業施設の被害状況と、今後の支援策を問う。

答 産業振興課長 2月25日現在のJAフルーツ山梨の集計によると、ぶどうハウスは全壊、半壊、一部損壊等、97軒が被害を受けた。施設の撤去、再建、苗

木の植え替え、復旧資金の融資等に国、県の支援策が実施されることとなったが、さらなる支援の充実を関係機関に要請している。

問 国の教育再生実行会議が設置され、いじめ問題、道徳の教科化、教育委員会制度のあり方など、さまざまな教育改革が進められようとしているが、市はどのように受け止めているのか。

答 教育長 教育現場の声に耳を傾けていただき、何が必要かをしっかりと議論してほしいと思っている。教育再生実行会議の動向などを注意深く見守り、必要な対応が迅速に図れるよう、準備を進めていきたい。

問 「医療・介護総合確保推進法案」が国会に提出された。患者・利用者に大幅なサービス利用制限と負担増を強いる内容であり、市民生活に大きな影響を及ぼすことは明らかであるが、

市はどのように受け止めているのか。

答 介護支援課長 医療と地域包括支援センターが連携を持ち、いかに地域へ介入していくかが課題となる。現在、関係機関と在宅医療連携機能拠点施設の内容等について協議を始めており、市でも積極的に在宅医療・介護連携を推進していく考えである。

新たな障がい者総合計画
策定に向けた市の考えは

問 今後の障がい者施策を総合的に推進していくため、平成27年4月からの実施期間となる、新たな「市障がい者総合計画」策定に向けた市の考えを問う。

答 福祉課長 現計画を検証、評価する中で、課題を精査し、障がい者や家族、関係者の意見を反映させ、地域社会での生活の充実に

推進していきたい。

問 勝沼ぶどうの丘の管理運営について、PFIによるコンセッション方式が最善と考える根拠は何か。

答 政策秘書課長 人口減少社会を迎え、利用者の減少が見込まれる中、施設整備における投資と収益のバランスを考慮することは経営において非常に重要である。さらには現状の事業規模での集客施設としての採算性についても、サービス内容を含め、検討する必要がある。同方式では、事業運営の方法を民間事業者が担うため、接客サービスの向上や事業コストの効率化を図るための施策が期待できる。市側は経営に対して一定の関与を確保しつつ、財政負担なく事業運営していくことが可能となる。一方、民間事業者は、料金収入を伴う公共施設の運営に参画することで、新たな市場が誕生し、地域経済活性化に資することが期待できる。以上のことを総合的に勘案し、将来にわたる施設を維持、運営していくために、PFIによるコンセッション方式が最善であると判断した。



平塚 義議員

甲輝会

Q 勝沼氏
館跡 今後の活用計画は

A 史跡公園として整備していくことが望ましい

問 財政健全化の推進に向けたこれまでの取り組みと成果を問う。

答 財政課長 全庁挙げたことにより、実質公債費比率、将来負担比率等の財政指標や基金現在高は毎年改善されており、健全財政を維持しているものと考えている。

問 平成26年度から市民課内に設置される人口対策室の事業内容を問う。

答 政策秘書課長 市人口対策本部において、約1年にわたり協議を重ねてきたが、平成26年度から具体的な対策に取り組んでいく。主な分掌事項は、①人口対策に関すること、②空き家バンクに関すること、③定住支援、定住相談に関すること、④結婚相談に関すること、の4事項である。

問 今回の大雪の際に、老人や障がい者等の安否確認

はどのように行われたのか。

答 福祉課長 独居高齢者や障がい者等の災害時要援護者については、各地区の民生委員に安否確認をしていただいた。また、在宅透析治療患者や障がい福祉サービス利用者等については、市職員が電話や訪問により安否確認を行った。

問 鳥獣害防護柵の今後の設置計画を問う。

答 産業振興課長 平成26年度は、塩山上小田原地区、勝沼町岩崎地区及び深沢地区で防護柵の設置、かさ上げ工事を実施する予定である。

勝沼簡易水道
今後の整備計画は

問 勝沼簡易水道統合整備事業について、今後の計画を問う。

答 水道課長 平成26年度は、菱山浄水場建設に係

る用地取得を行う。また、浄水場実施設計業務委託・配水管布設工事等を実施する。27年度以降は、浄水場施設整備工事、小佐手配水池建設工事を予定している。

問 勝沼氏館跡の今後の活用計画を問う。

答 生涯学習課長 歴史が学習できる史跡公園として整備、公開していくことが望ましいと考えている。来訪者の学習の便宜を図るため、遺跡の説明板や休憩施設等を設置していきたい。今後も保存管理計画の策定に向け、整備検討委員会での検討していく。

問 市学校給食センターについて、教育総務課の業務から独立させ、新たな課

を設置することのだが、どのような管理運営を行っていくのか。

答 教育総務課長 平成26年度2学期の運用開始時は塩山地域の小・中学校分の提供となるが、今後は勝沼、大和地域の調理場も統合していく。仕入れ業者との対応、アレルギー対応、給食費公金化の準備など、業務が増大することから、集中的かつ統括的な運営を行うために業務を移管する。

問 学校評議員制度の意義を問う。

答 教育総務課長 保護者や地域住民の意見を伺うことで、理解や協力を得やすくなり、地域に開かれた円滑な学校運営が期待できると考えている。



史跡公園としての整備が検討されている勝沼氏館跡

※1 自治体の実質的な借金返済負担の重さを表す指標
※2 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合

市債権管理条例制定で 徴収カレベルアップの取り組みを

総務常任委員会を2月20日、3月10日、11日、19日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

●3月10日開催

■甲州市債権管理条例制定について

問 強制徴収公債権についてはどのような方法で滞納処分を行うのか。

答 収納課長 介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育所保育料等について、市税等と同様の手法で滞納処分を行っていく。

問 市職員の徴収力のレ

ベルアップに向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 総務課長 全庁的な意識の中で、収納課職員が中心となり、知識や手法を身につけるため、研修等に取り組んでいきたい。

■甲州市長等の給与及び旅費条例等の一部を改正する条例制定について

問 財政健全化等の理由から、市長等の給料月額削減措置を行ってきたが、これまでの削減額を問う。

答 総務課長 特別職4人については、給料、手当

等を含め、7年で約1500万円の削減が図られた。

●3月11日開催

■平成25年度甲州市一般会計補正予算(第11号)

問 平成24・25年度の継続事業で、防災行政無線のデジタル化整備事業を実施したが、市民からの反響はどうか。

答 総務課長 今回の大雪災害を通じて、防災無線のあり方や役割が再認識されたと思っている。

●3月19日開催

■平成25年度甲州市一般

会計補正予算(第13号)

問 本市の大雪による農業関連の被害状況を問う。

答 産業振興課長 県の調査によると、被害件数が272件、被害面積が3927㏎、被害金額が約29億3600万円である。

問 大雪による被災農業者等への対策事業補正であるが、歳入の寄附金について、詳細な内容を問う。

答 財政課長 個人1件から100万円、宗教法人1件から20万円、合計120万円の寄附をいただいた。



デジタル化の導入に伴い整備された防災行政無線

重度心身障害者の医療費助成 窓口無料方式から自動還付方式へ移行

教育民生常任委員会を2

月20日、3月6日、7日、19日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝え

します。

●3月6日開催

■甲州市伝統的建造物群保存地区保存条例制定について

問 該当する地区名と保存対象を問う。

答 生涯学習課長 塩山下小田原地区の上条集落を

念頭に制定するものである。保存対象は、現存する切妻づくりの甲州民家群13棟と土蔵等の付属家である。

■甲州市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例制定について

問 満77歳の方への支給は廃止とのことだが、満88

歳等の方への支給要件は近隣自治体と同等か。

答 福祉課長 多少異なるが、当市においては、住所要件1年以上で、満88歳の方に1万円、満100歳の方に10万円、満101歳以上の方に2万円を支給している。

市道綿塚12号線の歩道 安全対策で26年度に改修工事を実施



特異な切妻づくりの甲州民家群として高い評価を受けている上条集落

建設経済常任委員会を3月6日、7日、19日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

●3月6日開催

■平成25年度甲州市一般会計補正予算(第11号)

問 都市計画総務費のサイン整備事業費を減額し、平成26年度に繰り越すとのことだが、事業の詳細な内容を問う。

答 都市整備課長 国道411号の改良工事に合わせ、サイン整備を行うこととしていたが、工事の進捗よ

■甲州市重度、心身障害者医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について

問 従来は医療機関の窓口で医療費無料の手続きが完了していたが、今後はどうなるのか。

答 福祉課長 受診した際に、いったん自己負担分を支払っていただき、約3カ月後に受給者の口座へ自動還付される。

■甲州市B&G海洋センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問 勝沼B&Gは施設改修後に指定管理者制度を導入することだが、勝沼中学校の体育の授業での利用に関しては、どのように対応していくのか。

答 生涯学習課長 変更点はなく、これまでと同様に利用していただける。

●3月7日開催

■平成25年度甲州市一般会計補正予算(第11号)

問 4月から、医療費窓口無料化が中学3年生まで拡充されるが、周知等の取り組みを問う。

答 子育て支援課長 中学生の保護者に申請用紙を送付し、受付事務を進めていく。また、広報等へ掲載し、周知を図っていく。

く状況に遅れが生じたこと、また、県から、市の導線計画の内容を指摘されたため、繰り越すこととした。今後は、国道411号の景観に配慮したグレイドアップ構造に見合ったサイン設置に努めていく。また、地域で設置数に差があり、整理していく必要がある。

問 宮光園の全面公開はいつ頃になるのか。

答 観光交流課長 平成26年8月に白蔵が完成する。離れ座敷等は平成25・26年度の継続事業で保存修復を

実施しており、全面公開の時期は未定である。

問 畑総整備事業に係る入札が不調とのことだが、詳細な内容を問う。

答 農林土木課長 前年度の大型補正予算執行で工事件数が増加し、業者が人手不足のため入札参加できなかったことが原因であるが、現在は解消されている。

■平成25年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

問 施設整備費を減額す



通学路としても利用されている市道綿塚12号線の歩道。安全性の確保は極めて重要となる

る理由は何か。

答 水道課長 塩山上萩原地区大久保平及び勝沼町菱山地区への浄水場建設に係る用地取得に時間を要したため、平成26年度に設計業務委託を実施する。

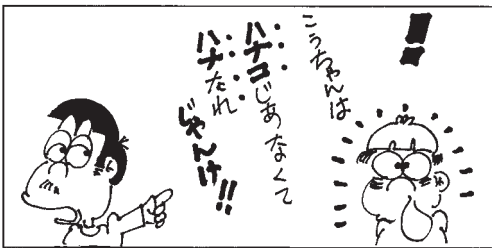
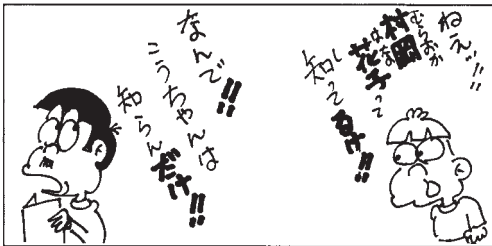
■平成25年度甲州市一般会計補正予算(第12号)

問 道路新設改良費に交付金が計上されているが、内容を問う。

答 建設課長 安全対策で、平成26年度に市道綿塚12号線の歩道の改修工事を実施する。

甲州弁!!

No.31 「ザ・甲州弁!!」 作・三森 清



表紙の写真



暖かな春の陽気が訪れた4月上旬。塩山中萩原の慈雲寺では、県指定の天然記念物イトザクラが色鮮やかに咲き誇っていました。入学式を終えたばかりのピカピカの1年生も満開の花をじっと見上げていました。

市議会を傍聴してみませんか

今回の6月定例会は、以下のとおり開催を予定しています。市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場へお出かけください。

●6月定例会の開催予定

6月10日(火) 午後 1時30分～	本会議 (開会)
19日(木) 午前10時～	本会議 (一般質問)
20日(金) 午前10時～	本会議 (一般質問)
24日(火) 午前10時～	常任委員会
25日(水) 午前10時～	常任委員会
27日(金) 午後 1時30分～	本会議 (閉会)

※会期の日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定しますので、決まり次第、市ホームページなどでご案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問合せください。

■お問合せ

甲州市議会事務局 TEL 32-2111 内線 331

有料広告

国内産米 安心安全宣言

おいしい峡東食糧のお米!

甲州市内の米店でお買い求めください

峡東食糧協同組合

山梨県山梨市下石森1番地
TEL 0553-22-2665
FAX 0553-23-0137

こちら編集室

■関東甲信を中心に降り続いた2月の記録的な大雪は、各地を孤立状態にさせました。甲州市においては、ピニールハウスの倒壊など、農業被害額が29億円を超える災害となりました。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

■4月是小・中学校の入学式が行われました。今年度の入学者は小学校352人、中学校269人で、昨年度よりも児童・生徒数が減少しています。特に、小学校では入学者12人以下の学校が4校ありました。複式学級にならないよう、取り組

んでほしいと思います。■4年に1度のスポーツの祭典、第22回冬季オリンピック・パラリンピック「ソチ大会」は3月16日にすべての競技日程が終了しました。パラリンピックでの日本人選手の活躍は、私たちに多くの感動と勇気を与えてくれました。(〇)

市議会広報編集委員会
編集委員長 中村 勝彦
副委員長 平塚 義
委員 岡 陽子
委員 野尻 信子
委員 川口 信子
委員 岡部 久雄
委員 丸山 紀久
委員 相澤 俊一
委員 黒川 武雄
委員 廣瀬 明弘

こうしゅう市議会広報 『有料広告』を募集!!

(年4回発行 11,650部)

■甲州市議会では、市議会広報の紙面に掲載する有料広告を募集します。発行は、年4回開会される定例会(3月、6月、9月、12月)閉会日の翌月末日の4回です。

■広告掲載料は1枠1回につき10,000円です。